※令和４年度以降入学生用

学校番号	301

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	(学)音楽演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を一年間通して学習します。・学習の到達度は、授業で配布するワークシート、レポート、実技発表で評価します。

・音楽が生涯ずっと、皆さんの心の支えとなり、生きる力の原動力となることを願います

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のように育成することを目指す。

a 知識及び技能

曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

b 思考力、判断力、表現力等

個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

c 学びに向かう力、人間性等

主体的・協同的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構成や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える ・どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わったり、聴いたりしている	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アンサンブル	G 線上のアリア The Pink Panther Theme リズムパフォーマンス	a 小アンサンブルに必要な技能を習得し、それを演奏に生かすことが出来る b　曲のイメージを持って強弱、旋律の特徴を生かして表現する c　各種楽器を演奏する喜びを味わい、音楽活動に主体的に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	発表 観察 振り返りシート
2学期	ミュージカル・オペラ	サウンドオブミュージック オペラ座の怪人 レ・ミゼラブル トスカ 椿姫	a オペラ、ミュージカル成立の歴史とその後の発展について知識を深める bミュージカルとオペラとの同質性、違いを理解する代表曲を歌唱し、より良い表現が出来る c自身が歌うことで自身の適性を知り主体的に活動している	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	観察 振り返りシート
3学期	鑑賞	鑑賞(独自プリント使用)	a 馴染みのあまりない日本の音楽や世界の民俗音楽の特徴や歴史を知る b　邦楽の特性を他の音楽と比較して考えてみる c　興味関心を主体的に持って鑑賞活動ができているか	ワークシート	ワークシート	ワークシート
通年	鑑賞	生徒自身が調べてきた曲を授業内で発表	a 選曲することによってその曲の背景や特色について深く調べる b 曲の良さを自身の言葉で表現できる c 協力的、主体的な位置で鑑賞活動が出来たか	レポート発表 ワークシート	レポート発表 ワークシート	レポート発表 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度